

令和5年度まちづくり推進住民会議「全体会議」記録書

1. 日時 令和6年2月24日（土）午前10時00分～11時29分
2. 場所 エコーセンター2000 2階 大会議室
3. 出席者 ○一般出席者 76人 ※前年度95人
○網走市出席者 22人
(市長、副市長、教育長、企画総務部長、市民環境部長、健康福祉部長、健康福祉部参事監、観光商工部長、農林水産部長、建設港湾部長、新庁舎開設準備室長、水道部長、学校教育部長、社会教育部長、消防長、財政課長、生活環境課長、生活環境課参事、新庁舎開設準備室参事、企画調整課長、広報広聴係長、
広報広聴係主事)
※下線は説明・発言者
○町連出席者 9人

※合計107人（前年度125人）

4. 会議内容

- (1) 開 会 網走市町内会連合会事務局次長（司会者）
- (2) 挨 拶 町内会連合会会長 10:00～10:04
市長 10:04～10:07

(3) 会 議

【説 明】

- ①令和6年度予算案の概要について（10:07～10:35）
意見交換（10:35～10:36）
- ②ごみ処理の状況と広域化の進捗状況について（10:36～10:47）
意見交換（10:47～10:53）
- ③移動型医療サービスについて（10:53～11:01）
意見交換（11:01～11:09）
- ④新庁舎建設工事の進捗状況について（11:09～11:15）
- ⑤全体を通しての意見交換（11:15～11:28）
- (4) 市長まとめ挨拶（11:28～11:29）

(1) 令和 6 年度予算案の概要について

1 参加者

健診助成事業の人間ドックの対象年齢について

対象年齢を 64 歳から 74 歳へ拡大と記載がありますが、これは 74 歳にならないと助成対象にならないということですか。

(市民環境部長)

現在 40 歳から 64 歳までとしています。74 歳までに拡大するという事です。

(2) ごみ処理の状況と広域化の進捗状況について

2 参加者

焼却施設が完成した後の生ごみの出し方について

焼却施設ができれば、今生ごみで出しているものも焼却するごみに出せるようになり楽になると考えていたが、現在の堆肥化 100%も両方やっていくということですか。

(市民環境部長)

現在は焼却を基本として検討していますが、もう一つは、生ごみを含む可燃ごみを、機械的に生ごみだけ分けてメタン発酵する技術もありますので、それが利用できるか検討しています。

分別の周知について

分別に協力したいが、テキストみたいなものを全て暗記するのは難しい。今出したごみが最終的にどうなるのか教えて欲しい。それが詳しくわかれば、正しい分別になるように自分で判断できる市民が増えると思います。

ホームページに掲載されている分別の動画を見たが、生ごみだけ、土みたいなものが出てきてわかりにくい。今の処分場の延命化のために協力したい気持ちはあるが、迷ったら赤い袋に入れることになってしまっていると思います。

レシートを雑紙に入れていいのは網走市くらいで、レシートは感熱紙なので、雑紙に入れていい自治体は、調べた限りではありませんでした。こういうところに出しているから網走市は大丈夫というようなことを教えて欲しいと思います。

(市民環境部長)

様々な啓発、お知らせがわかりづらい部分があると思いますので、今、いただいたご意見を取り入れて、みなさんにご協力いただけるような広報をしていきたいと思っています。

(3) 移動型医療サービスについて

3 参加者

専用車両の見学について

とても良いサービスだと思っており、住民の中でも話題になっています。

例えば、何らかの研修をするときに、専用車両に来ていただいて見学できるようにしたり、市のイベントで公開するなど、今後、そのような機会を設ける予定はありますか。

(健康福祉部長)

今現在、イベントなどでの公開は予定していませんが、今ご意見いただいた地域の研修などの際に、診療優先にはなりますが、空いている時間帯であれば、ご連絡をいただければ専用車両を持って行きご覧いただくことは可能です。

4 参加者

網走の医療体制について

網走の医療体制の拡充という視点で、積極的に市長に取り組んでいただきたい課題があります。網走の基幹病院は網走厚生病院となっていますが、難しい治療は北見の道立病院、北見の日赤、旭川医大まで患者が転院することがあります。患者はもちろん家族を含め、遠隔地に入院することは大変なことです。

網走厚生病院の機材の拡充、専門医の配置、医療技術の向上にしっかり取り組むことが必要ではないでしょうか。

(市長)

医療の充実はこの地域に済み続けるために欠かせない条件だと思いますので、しっかりと、網走、斜網地域、北網地域における医療の充実に取り組んでいきたいと思えます。

皆さんにご案内のとおり、かかりつけ医という一次医療があり、網走厚生病院はそれを含む二次医療機関となっています。そしてその次に三次医療機関というのがあり、オホーツクでは北見日赤病院が三次医療機関に当たります。一次医療機関が担えないものは二次医療機関に、二次医療機関が担えない、血液のがんや大やけどなどは三次医療機関に治療していただくことになっています。

三次医療機関の役割を二次医療機関が担うということではなく、今の診療を確保し、すきまなく医療を提供できるよう、二次医療機関としての医師の確保、医療の提供サービスはしっかりやっていきたいと考えております。

(4) 新庁舎建設工事の進捗状況について

質疑なし

(5) その他

5 参加者

網走マラソンの交通規制、お手伝いについて

網走マラソンで、二見ヶ岡地区のメインの道路が、10時から14時頃まで通行規制がかけられていて、ちょうど収穫時期のため、農作業に影響が出ています。収穫については、自分たちで場所とか内容を変えて作業していますが、11時30分から12時頃まで、お互い動ける範囲を決めて、地元住民だけでも動けるようにして欲しいと考えています。

また、マラソンのお手伝いですが、収穫時期ということもあり、年々人数が少なくなっています。混む時間帯だけでも市から応援が欲しいと思いますので検討をお願いします。

(市長)

網走マラソンも今年10回目を迎え、昨年と一昨年の大会は全国1位の評価をいただき、大きく成長することができました。その大きな理由の一つが、二見ヶ岡のエイド、網走和牛や地元の農家さんのいちごやミニトマトなどを提供するエイドで、地元の皆さんが提供するエイドに癒されたとランナーの皆さんから評価をいただいています。改めて感謝とお礼を申し上げたいと思います。

大変忙しい時期だと1回目から理解しているところで、農作業の時間帯につきましても大会事務局と地域の区会で、何ができるか、しっかりと今後の対応を協議させていただければと思います。

お手伝いについても、東京農大を含めて、様々なボランティアの皆さんがいるので、二見ヶ岡のエイドに参加できるかを含めて、よく相談させていただければと思います。

6 参加者

学校配置について

将来網走市が20,000人台になるという試算が出ていていると聞いています。人口減を前提にしたまちづくりに取り組んでいかなければならないと思います。一昨年生まれた赤ちゃんが180人台、昨年生まれた赤ちゃんが150人台と聞いています。

現在小学校が9校、中学校が6校あります。ある程度人数がいた中での教育が必要だとは思いますが、どのように考えていますか。

(市長)

日本全国子どもの数が減っていて、人口が減っていることを前提として取り組みをしなければならぬと理解しています。

その中で、学校配置についても極めて課題があると考えていますが、小学校は地域の拠点でもあるので、十分地域の皆さんと話し合っていかなければと考えております。

(教育長)

児童生徒の数が減っており、学校の適正配置についても基準が国で示されていますが、地域で特別な事情があればその限りでないということになっています。

学校は子どもたちのために設置しているものですが、防災や地域の交流の場となっており、学校を中心とした地域のシンボリックな価値を持っていると理解しています。その上で、学校の適正な規模を検討するためには、教育的な観点と地域のさまざまな事情を総合的に考えていかなければならないと思っています。

新年度は、少人数での教育の良さを生かし、きめ細やかな指導ができる小規模特任校制度の活用を検討しています。

今後も市全体の学校の適正配置について、検討を続けていきたいと思っております。

<参加者>

柳沢幸雄という方が小中高の一貫校がどういう効果をもたらすかについて本にまとめています。北広島市でも小中一貫校を、今、全市で進めています。

網走市も、点在する小規模校もそれなりに良さはあると思いますが、やはり子どもというのはある程度人数がまとまった中での教育が望ましいと思いますので、早めに将来の方向を示して、住民の理解を得て、網走の学校教育を進めて欲しいと思います。

7 参加者

社会教育の多文化共生事業について

非常に良いことだと思います。私もフィリピンや中国、ベトナムの方々と交流がありますが、せっかく網走に来たのに何も知らないで帰るよりも、良さを知って帰ってもらって国で広めてもらったら良いことだと思いますし、私たちにとっても非常にプラスになると感じています。

網走に来ている外国人の方の人数や国籍について、わかれば教えてください。

(社会教育部長)

市内在住の外国の方は、1月末で、25カ国、407名となっています。

東アジアの方が多く、インドネシア、ミャンマー、フィリピン、中国の方の、就労や

技術研修が多いと聞いています。

(町連事務局次長)

(挙手がないため) 最後に水谷市長からまとめのご挨拶をお願いいたします。

(市長)

まとめの挨拶

以上